

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレイズヒル岩崎201
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <http://www.cornerstone.or.jp>

f 礎の石孤児院のFacebookページを「いいね!」して活動を応援してください。



今年も海水浴に行ってきました(カンボジア孤児院)

皆さまの御支援、御協力、いつもありがとうございます。

先月のニュースレターで、関東の台風被害に少し触れましたが、今、このニュースレターを執筆している段階ですが、今年最強と言われる19号が日本に近づきつつあります。

このニュースレターが皆さまのお手元に届くころは、既に過去の話となっていると思いますが、その勢力の強さから、様々な被害が予想されています。個人的には、ここ数年で最強と思える勢力なので、被害が無いよう祈るばかりです。

このところ日本では、今まで無かったような災害が起こるように思えます。子ども達に被害が及ばないよう願いますが、と同時に、子ども達を助ける働きの必要性を強く感じさせられます。

また、海外の私共の孤児院も、さらに助けを必要としている子供たちの存在を認識しております。

一人でも多くの子ども達を助けるためには、やはり皆さまの御力が必要であります。どうかこれからも皆さまの御支援、御協力、何卒よろしくお願い致します。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チヨムリアプスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。今年に入って受入れた5歳の男の子に、後日兄弟がいることがわかりました。特にすぐ上の7歳になるお姉ちゃんは、学校にも行けない状況にあるということで、預かっておられた親戚の方より彼女も孤児院で受入れてほしいということで、9月に手続きをし、受入れる事が出来ました。共に生活出来るようになり、姉弟共に大変喜んでます。9月中旬、海水浴に出掛けて来ました。この時期、雨季ではありますが、何とか晴れるようにと願っていました。出かける時は曇り空でしたが、途中から雨が降ってきたのですが、海水浴場に到着しましたタイミングで雨が上がったのです。今年も、子ども達はたくさん泳ぎ、遊ぶことが出来ました。この時期に新学期がスタートします。幼児たちも幼稚園に入園する事が出来、先日来たばかりの7歳の女の子は、新学期の受入の時期を過ぎていたのですが、読み書きの学びのため、幼稚クラスに入る事のご許可をいただきました。皆様のご支援を通して、子ども達が将来に向けて学校で学ぶ事が出来ていますことを、心から感謝しています。



9月に受け入れたHN(写真右)と弟のYN(左)

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

10月は教師月間です。教師の方々に日頃の感謝を表す行事が学校で、また各クラスでも行われます。

先月 ダバオ市で4歳の女子が髄膜炎菌血症によって死亡したニュースお伝えしましたが、保護者たちの間に不安が広がっています。

彼女が通っていた幼稚園、受診した病院は未だに保険局によって閉鎖されたままです。

そしてさらに、先のニュースの2週間後、川の水から急性灰白髄炎(ポリオ)ウィルスが検出されたという発表がありました。

政府は感染を防ぐため、市営プールや川に泳ぎに行かないようにと市民に警告しています。就学支援生たちにも、「川で泳がないように。いつも身の回りを清潔にしておくように。予防に徹するように。」と各地域の責任者を通じて伝えています。

10月はさらに2回目の学期試験。ユナイテッドネーションの行事などがあります。

フィリピン子どもたちに対する皆様のご支援を心から感謝致します。

引き続き皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



スモーキーマウンテンでの給食活動の様子

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?皆様の日頃のご支援に心から感謝申し上げます。

ザンビアは現在、毎日10時間の停電です。もうすでに3ヶ月の不自由な生活ですが、雨季が早く始まって、ダムに十分な水量が貯まる事を願う毎日です。昨日のことになりますが、わたし達が支援してきた女の子(ストリートで生活する)のひとりが、自ら命を断ったと、連絡が入りました。多くの子どもたちの目の前で起こった事で、ストリートに動揺が広がっています。もう少し、誰か寄り添える大人が近くにいたら...と思わずにはいられないのですが、取り敢えず、家族への連絡や葬儀の手配などに追われています。現在保護している60人の子どもたちへの食事等の経済さえも、足りていない状況ですので、ストリートに残っている子どもたちへのサポートが、滞りがちになっています。現場に足を運び、彼らのニーズを満たし、信頼関係を築くことによって、子どもたちは安心して心にある事を打ち明けてくれるようになります。私たちの働きを継続するためには、皆様のご支援がどうしても不可欠です。どうぞ今後ともお力添えをよろしくお願い致します。



ストリートの子も達

ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様のご支援をありがとうございます。ブラジルに戻り一か月経ち、日常生活のペースを回復しつつあります。温度や湿度の変化でのアレルギーが心配でしたが、今回は熱も痒みも出ず安心してます。異常な暑さは続いています。一昨日から雲が多くなり、やや涼しくなりました。

毎年8月末からインターネット上のみでの申告が始まり、9月30日までに支払い期限の、グアラパスの土地の税金が無事に申告・支払を終えることができました。皆様のサポートに感謝

しています。アラサトゥーバ市内には2つ児童養護施設があるそうですが、そのうちの1つを訪問しました。子供の安全とプライバシーのため、写真撮影はできないそうなのですが、子供たちやワーカーさんとおしゃべりして、楽しかったです。「ひとりで住んでいて淋しい」と言ったら、「来て一緒にご飯を食べたらいい」と言ってくださいました。

後日、社会福祉士の方ともお話ししました。

私たち自身の働きのためにも、皆様のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



税金申告・支払しました